

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

令和 8 年 4 月 23 日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は 6 年生で、国語、算数の 2 教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下 回 っ て い る	や や 下 回 っ て い る	ほ ぼ 同 じ	や や 上 回 っ て い る	上 回 っ て い る
国語	60.9%					○
算数	56.4%				○	

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%			○		
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%	○				
読むこと	65.9%				○	

【考 察】

- 3領域で全国平均を上回りました。特に「話すこと・聞くこと」の領域では、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する」問題の正答率が高い結果となりました。、授業で行っている、めあてに対する自分の考えを、資料等を活用して友達に伝える活動が、話す・聞く力の定着につながったと考えられます。
- 「書くこと」の領域では、「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」問題で課題が見られました。文章全体の構成や展開が読み手が理解しやすく明確になっているかなどの観点から、文や文脈を整えて推敲する活動を取り入れていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%	○				
図 形	55.3%					○
測 定	78.1%	○				
変化と関係	41.1%					○
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 3領域で全国平均を上回りました。特に、「データの活用」の領域では、「示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述する」問題の正答率が高い結果となりました。日頃の授業の中で、自分の考えを、ノートに書いたり友達に説明したりする際に、数や言葉を使って根拠を明確にする活動を取り入れてきたことが成果につながったと考えられます。
- 「測定」の領域では、「示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求める」問題に課題が見られました。授業の中で、問題を正しく読み取り、数量の関係を図や式で表したり、友達に説明したりする活動を取り入れていきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	大信小	26.3	47.4	26.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 約70%の児童が、自分で学び方を工夫して学習しています。分からないことは自分で調べたり、友達と学び合ったりして主体的に学習に取り組み、解決することができています。
- 新たな課題を見つけ、もっと知りたいという思いをもてる授業を通して、意欲的に学習に取り組めるように、日々の授業を工夫、改善していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	大信小	0.0	26.3	42.1	15.8	10.5	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている「学年×10分+10分（6年生は70分）」を達成している児童が約70%近く見られます。家庭学習の習慣が身につくように宿題の内容を工夫したり、自主学習が充実したものになるように学習の手引きをもとにして支援したりしていきます。
- 児童が励みになるように自主学習の内容を紹介し合ったり、取り組む内容についてアドバイスしたりして、よりよい家庭学習ができるように働きかけていきます。また、メディアとの関わり方についても指導し、学習の時間の確保に努めていきます。ご家庭での励ましの声かけをお願いします。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
6	大信小	3 6. 8	4 2. 1	2 1. 1	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 学習した内容を振り返り、次の学習につなげていこうとする様子が見えます。今後も分かっていることを生かして課題解決につなげたり、分からなかったことはそのままにせずに解決したり、意欲をもって学習に取り組むことができるよう指導していきます。
- 授業の中で分かったことや分からなかったことを見つめ直すことで、自分の学習の仕方を改善することができています。今後も自分の学びを振り返る時間を大切にしたい授業を行っていきます。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	5 2. 7	3 8. 7	5. 5	1. 3
6	大信小	5 7. 9	3 6. 8	5. 3	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しているのは、本校が目指す「友達と安心して学び合うことのできる学級を土台とした学びのよさを実感できる授業づくり」を実践してきた成果ととらえています。
- 今後は、友達同士が互いに認め合う機会を授業以外でも増やしていき、児童の自己肯定感が高まるようにしていきます。また、楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-Uテスト）を活用し、学級の実態を把握して、一人一人が互いに認め合い、安心して学校生活を送れるようなよりよい学級集団づくりを目指していきます。